

# 整備機器

## 新商品

### 小野谷機工(株)

乗用車用タイヤチェンジャー

### 「ALMAX EXCEED XX」

# エアブレーキ機能など5つの新機能搭載

て省力化・省人化と整備作業の効率化を図ろうというものだ

タイヤ整備機器や更生タイヤ製造機器、廃タイヤ処理施設の国産メーカーの小野谷機工(株)(福井県越前市、三村健二社長)では、かねてよりこの問題に真正面から取り組んできている。そしてその解として、省力化・省人化と作業の効率化を実現する数々のタイヤ整備機器新製品を開発し、市場にタイムリーに供給してきた。

タイヤ販売・整備の現場で今、深刻化しているのが人手不足と作業スタッフの高齢化の問題。クルマ社会の安全・安心を担保する、重要な役割を持つタイヤ。その整備の技能をいかにして次世代に伝承していくか、非常に重要な局面に置かれていると言っても決して過言ではない。

そのような状況を打開する具体的アイデアの一つが「現場での作業を少しでも楽にすること」。すなわちタイヤ整備機器に新機能を搭載することによって、省力化・省人化と作業の効率化を実現する数々のタイヤ整備機器新製品を開発し、市場にタイムリーに供給してきた。



(写真上から)「新型ホイールプレス装置」で楽に、確実にチャッキング。「サードプレス装置」がレバーレス作業をより容易に行うことを可能に。

パーを使用し、デリケートなタイヤビード部に負担をかけないよう作業を行う。それでもツールを当てるポジションによって大きなアンシジョンがかかる可能性がある。第3の補助装置として、この「サードプレス装置」を使うことで、レバーレス作業を容易に、かつ効率的に行うことが可能だ。

売を開始した「ALMAX EXCEED XX」(アルマックス エクシード)ダブルエクセス)は、その最新機種だ。商品開発部機器商品開発グループ

の吉川真仁課長に、新製品の解説と実演デモを行ってもらった。

「エアブレーキ機能」

1つ目は、ターンテーブルを回転させるモーターに搭載した「エアブレーキ機能」。

「エクスシード」のブランド名は、同社のタイヤ整備機器において最上級モデルを意味する。1993年にその名を初めて冠した「アルマックス エクシード」を上市。2001年に「エクスシードSRB」を発売。その後「アルマックス エクシードX」を上市し、市場で高い評価を得ていた。

その流れを汲むのが今回の26インチ対応レバーレスPCチェンジャー「アルマックス エクスシードXX」。今

年のオートサービスショーで参考出品し初公開した。

吉川課長によると、新製品には5つの新機能を搭載したという。

1つ目は、ターンテーブルを回転させるモーターに搭載した「エアブレーキ機能」。

これら5大機能のほかにも「エア昇降式アーム」や「角度調整式ブレーカー」なども新たに採用。「インフレーター」&「2スピード」ターンテーブルを標準採用したほか、30インチアタッチメントなどオプション品も揃えている。

「エアブレーキ機能」

ターンテーブルを停止させるために、踏み込んでいた回転ペダルから足を離すが、これまでは惰性で完全に停止するまでタイムラグが生じた。

今回、エアブレーキの働きで、ペダルから離れた時点で回転がピタリとストップする。任意の場所で思いのまま停止するので、次の作業工程に快適に移ることが可能。

2つ目は「新型ホイールプレス装置」。

「下プレス」は、これまで単独で昇降するの場で、両方を下降させる場面では別々にボタン作業を行っていた。今回、「BP・BU運動機能」により、「上プレス」を下降させると「下プレス」も運動し下降するもの。細かな工夫だが、作業工程の流れがそれにより一層スムーズになる。

「サードプレス装置」の採用。超薄平タイヤやランフラットタイヤのホイール組み込み時、MD

「上プレス」と「下プレス」を採用した。超薄平タイヤやランフラットタイヤのホイール組み込み時、MD

「サードプレス装置」の採用。超薄平タイヤやランフラットタイヤのホイール組み込み時、MD

「サードプレス装置」の採用。超薄平タイヤやランフラットタイヤのホイール組み込み時、MD

ハイエンドモデルにふさわしいスペックをフル搭載した、プロシヨップ向けのニューモデルだ。

「サードプレス装置」の採用。超薄平タイヤやランフラットタイヤのホイール組み込み時、MD

「サードプレス装置」の採用。超薄平タイヤやランフラットタイヤのホイール組み込み時、MD

「サードプレス装置」の採用。超薄平タイヤやランフラットタイヤのホイール組み込み時、MD

「サードプレス装置」の採用。超薄平タイヤやランフラットタイヤのホイール組み込み時、MD

ハイエンドモデルにふさわしいスペックをフル搭載した、プロシヨップ向けのニューモデルだ。

「ALMAX EXCEED XX」と商品開発部機器商品開発グループの吉川真仁課長